

みなみ

No. 54

大阪市立南高等学校同窓会

〒542-0012 大阪市中央区谷町6-17-32

TEL 06-6762-0105

同窓会総会ご案内

- ・月日—9月20日(土)
- ・時間—午前11時より(30分程度)
- ・会場—大阪市立南高等学校内会議室(2F)

※文化祭見学 大歓迎!!

会則から規約へ

その意義は

—成熟した会務運営を
目指して—

大阪市立南高等学校同窓会会長

下 島 仁 士



事の起こりは、松田事務長さんからの次の一言でした。

「新入生とその保護者の方々への入学説明会で、同窓会の説明案内をお願いしたいのですが、会則には同窓会費について記載されているのでしょうか。」というお話でした。

このことをきっかけに四十四年ぶりに会則の一部改正が行われたわけですが、事はそれにとどまらず、果たして現在の会則は、現状の同窓会の姿を反映しているのだろうかという議論になり、本格改正へと一つの大きなうねりのごとく突き進んで行ったのであります。同窓会という社会との接点の殆どない内向きな団体が、生徒の保護者の方々から暗黙のうちに社会的評価を受けるとい

う、厳かな時代に入った瞬間でもありました。

私自身、獣医師会及びその関連団体にお世話になっていたところから、ルールブックの作成に広く関わった経験がありましたが、諸先輩方から言われたことは、「下島君、ルールブックはいつ何時、誰の目に留まるか知れない。笑われないようにお願いするよ。」という事でした。社会との接点の多い会ならではの事ではありましたが、今まさに南高校同窓会がその立場に立ったのだという事を、改めて強く思い致している所であります。

標題の「会則から規約へ」は、その思いを込めて申し述べているものであり、言葉としての意味ではなく、民主的胎動を明確に余人に感じさせる自己主張としての意義を、前面に押し立てての表現と受け止めて戴きたいと切に願うものであります。

我々役員一同、この意義をかみしめながら、同窓会の運営を充実化させつつ母校創立八〇周年記念事業に対し、支援協力を大いに進めていきたいと考えております。

会員各位には、この意義を充分ご理解戴き、同

窓会に対し今一層のご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。併せて、母校創立八〇周年記念事業に対し、更なるご協力戴きますよう、伏してお願ひ申し上げます。

母校創立八〇周年まで、今年を入れてあと四年。

ご挨拶

校長

澤 井 宏 幸



同窓会会員の皆様には、日頃から格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私が本校に着任した昨年四月一日から早いもので一年を過ぎました。おかげさまをもちまして本年度も本校で勤務できることとなり、大変喜んでおります。本校生徒は、勉強、学校行事等何事に対しても真面目に取り組んでいる、というのがこの一年で最も感心したことです。いまだき、真面目なことがカッコ良いと実感できる高校は少ない

と思います。また、教職員は、一人ひとりの生徒に目を配り、きめ細やかな教育ができていくということも目の当たりにしました。このような、アットホームな雰囲気は本校の最も大切にしなければならぬ教育文化であると確信しました。

さて、大阪市立の高等学校は、昨年度当初には平成二十七年に大阪府に移管する方向で検討されていましたが、直近の状況では「新しい大都市制度実施時期に合わせて移管を行う。」となっています。同窓会会員の皆様には何かとご心配をおかけしていますが、私たちはどのような状況変化にもぶれることなく、本校生徒のための教育を提供していかなければならないと考えます。

ここで、大阪市の学校教育の方向性を定めた大阪市教育振興基本計画を紹介しておきます。基本となる考え方のなかには、「一人ひとりの子どもを、個人としての尊厳を重んじ、その意見を尊重するとともに、自由と規範意識、権利と義務を重んじ、自己の判断と責任で道を拓き、真理と正義を求め、公共の精神を尊び、豊かな人間性と

創造性を備え、グローバル化が進む国際社会において力強く生き抜くことができる人間としてたくむこと・子どもたちが、我が国と郷土の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた国と、自らが育ったこの大阪を愛し、大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすようになること」とあります。特にグローバル化を見据えた考え方はまさに本校教育目標である「グローバル人材の育成」と合致するもので、まさに時代の先駆けとして本校が誇るべきところであり、本校のレーゾンデートル(存在理由)であると改めて確信しています。

大阪市の教育界が変化の波であらわれている今こそ、教育における不易と流行をしつかりと見定めながら、本校の教育の方向性を出していかなければならないと意を強くしております。

同窓会の皆様には、各方面において、ますますご健勝でご活躍いただき、今後も、これまで同様以後輩の生徒達を見守り、南高校の更なる発展にお力添えをいただければ幸いに存じます。

新入会員挨拶

高校六十六期

植木 咲楽(国語科)

私は「南高校のいいところ

は？」と聞かれると、まっさきに「人と人との距離が近いところ」だと答えます。そしてもう一つ、「学校の中で、信頼

できる人を五人決めて。」と言われたら、「たくさんいすぎて、絞りができない」と答えることができません。南高校は、高校として

はとても人数が少ない学校です。だからこそ、先生と生徒、先輩と後輩、

同期同士のクラス中の距離が近く、たくさんの個性ある人々と繋がりあうことが

できます。私は行事や部活、そして毎日の学校生活の三年間で、本

音で話し、心の底から笑いあえる、多くの信頼できる人々と出会うことが

できました。そうして出来た「縁」はこれからの長い人生を支えてくれるもの

になるはずで、そんな、すてきな「縁」を感じられる同窓会をつくっ

ていきたいです。新会員一同、力の限り頑張ります。よろしく願います。

します。

歓迎

新入幹事さん

植木 咲楽・島田 大生

白石 直子・森藤 成美

坂本 雪乃・平畑 れん

安藤 正紀・高村 れん

力強い仲間入り

これから宜しく

御退職されました

理科 上本 啓子先生

十四年間、実習担当教

諭としてお世話になり

ました。この度、定年

退職されました。

家庭科 吉田貴美子先生

七年間、総括実習助手

としてお世話になりま

した。この度、ご退職

されます。

理科 長谷 雅夫先生

八年間、お世話になり

ました。この度、定年

退職されますが、引き

続き南高校で再任用教

諭としてお願いしてお

ります。

転任されました

社会科 立花 慎二先生

十年間お世話になりま

した。この度、西高校

へ転勤されます。

家庭科 中井多津枝先生

七年間お世話になりま

した。この度、桜宮高

校に転勤されます。

体育科 雑賀 淳子先生

十年間お世話になりま

した。この度、都島工

業高校に転勤されます。

英語科 伊佐 達輝先生

十年間お世話になりま

した。この度、西高校

に転勤されます。

数学科 林 純史先生

一年間お世話になりま

した。この度、市立高

校に転勤されます。

英語科 宮浦 陽子先生

期間付講師として一年

間お世話になりました。

この度、汎愛高校

に教諭として転勤され

ます。

国語科 角江裕美子先生

期間付講師として二年

間お世話になりました。

この度、堀江中

学校に転勤されます。

着任された先生方

国語科 濱中 仁先生

東高校からお越し頂き

ました。

家庭科 八田 美紀先生

汎愛高校から実習助手

としてお越し頂きまし

た。

社会科 太田 徹先生

東淀工業高校からお越

し頂きました。

保健体育科 栗本 幸治先生

東淀工業高校からお越

し頂きました。

英語科 渡辺くえ先生

西高校からお越し頂き

ました。

英語科 若秋 真琴先生

期間付講師としてお越

し頂きました。

理科 岡本 葵先生

期限付実習助手として

お越し頂きました。

国語科 大西 修先生

期限付講師としてお越

し頂きました。

管理栄養 岸本 佳之さん

相生中学校からお越し

頂きました。

クラブ紹介

体育系

剣道・硬式野球・水泳・

ソフトテニス・ソフト

ボール・女子バスケット

・男子バスケット・バ

トン・バドミントン・

レーボール・卓球・ワ

ン

文化系

ESS・演劇・百人一首

かるた・科学・クッキ

ング・軽音楽・茶華道・

吹奏楽・箏曲・美術・文

芸

新しくふみ出した

七十一年度のこと

女二期 顧問

小国笑美子

一昨年六月同窓会創立

七十周年行事は本部役

員、後輩の方々の並々

ならぬ御努力に併せ多

くの会員の出欠の有無にか

かわらず御協賛いた

だき、成功理に終り意

義ある会としてまた八

十周年にむかつて一歩

をふみ出したことは皆

さんの思い出の一つと

してご承知のことであ

り、慶びにたえぬこと

ながら私個人として

は当時体調わるく思

う

ように本部にご協力でき

ず、せっかくの会員代

表の祝辞も代読して

いた。くという心苦し

い限りで

ありこのまま先輩とし

て一寸申訳ないの

で一念発

起し、かねてより母

校同窓会室に保存され

ている

「名簿」「記念行事に

関する各年代の印刷

物」発行

新聞「みなみ」など

山積

書類の整理すること

への

実行を思いつき、最

近体

調もよくなったので

女七

期谷川和子さんの協

力を

をえて厳寒の二月、

火の

気のない同窓会室の

つみ

重ねられたダンボール

箱、書類戸棚をばつ

ぽつ

整理しました、さす

れど

私も米寿、頭の計画

と体

力の差、模写、年次

順、

会員の变化などざつ

と四

時間奮闘していく

らかの書

類はわが家へ持帰り

、古

会報にアイロンかけ

た

り、セロテープ貼り

合

せたりと今日迄三カ

月程

未整理のままわが

家に

在し、完全にお返

し

るにはまだ時間を

いた

だく

ので遅々としている

こと

に自責の念しきり

：

一つの会の歴史の

伝

統

をつくる上で、そ

の通

つ

てきた年代の大切

な証

拠

となる文書は小さ

なメ

モ

も見のがせず、

時

代の変

遷は事務機の

大

きな

発

達、通信方法に

いた

って

は宛名手書き

から

のり

づけ、区別方法

を

とり

郵便

局へ運搬と当時の各

期幹

事の無償の努力の数々

を

想い出し、それに併

せ陰

の存在として四十

年近

く

母校に勤務、本業

務の

か

たわら同窓会の

会

計、

書

記などい

わゆる

雑務を

続

けていた

だいた

宮崎明

美

さん

(高校十七期)の

功

績は決

して見

のが

せず

筆

舌に

尽く

しが

たい

御

勞

苦、御

努力

の

あ

と

が

整

理

中

各

所

で

見

ら

れ

た

の

で

す。

古

新

聞

の

中

に

同

窓

会

O

B

と

し

て

発

足

し

た

文

芸

部

、

登

山

部

(

ハ

イ

キ

ン

グ

部

)、

コ

ー

ラ

ス

部

な

ど

各

期

を

こ

え

て

母

校

教

室

に

相

集

い

楽

し

ん

だ

こ

の

数

々

、

校

舎

移

転

問

題

で

数

多

く

の

会

議

に

出

席

陳

情

、

予

定

場

所

見

学

と

私

生

活

を

犠

牲

に

し

て

東

奔

西



秋本先生 校長先生 坂巻さん
岡本さん 山本さん

ひとしお強くよせる今日この頃です。

朗読最優秀賞おめでとう！
すばらしき後輩たちに
エールと拍手を！！

高二十三期の坂巻玲子です。

現在もフリー・アナウンサー・セミナー講師として仕事を続けています。

私の信条は、「声は人言葉は心」。恩師の金田一春彦氏から薫陶を受けました。

同窓生としてのご縁から、五年前から母校・国語科で特別講義「美しい日本語と朗読への誘い」と題し、講演をさせていただいています。

その主旨は、「話し方、朗読の方法を通じて自己表現を楽しく学ぶ」というものです。私の拙い講演を、目を輝かせながら真剣に聞くその姿に、いつも「初心忘れまじ」と自戒し、その真摯な姿に敬意を、また誇らしさを感じます。

後輩たちは、難易度の高い、「NHK杯全国高

校放送コンテスト」にもこの数年、大阪大会の予選、本選で上位入賞を果たし、複数名が悲願の東京・全国大会にも出場する栄誉を受けています。

標準語圏外の関西にあって、東京に進出することの難しさは想像に難くありません。まさに、「よくぞ頑張った！」です。

また、昨年十月には、三年生（現新入会員）の山本弥生さんが、東京で開催された、「森鷗外朗読コンテスト」で、「山椒大夫」を朗読、見事、最優秀賞・日本一に輝きました。

このように、現在の母校の国語科ならびに英語科にはすばらしい後輩達が学んでいます。この後輩たちは私たち同窓会にとって「掌中の珠」。これから大切に大切に守り、磨き、応援していきたいと、心から願うものです。（二〇一四年一月三十一日）

◆この山本さんの快挙に対し、同窓会から十一月に、お祝いのしるしとして、「金一封」を贈呈した。

◆この御礼にと、二〇一四年二月一日の常任幹事会に、当該の山本弥生さんが会議の前段に、受賞朗読「山椒大夫」を披露してくれ、幹事

一同、感動した。

各期だより

高女一期だより

生き残った高女一期生は、本年四月より誕生日には満九十才を迎え、卒寿と言われる年齢になつて行きます。

車の運転をしていた方々は数年前、既にやめ、自転車で飛び廻っていた人々も段々と乗れなくなつて不便不自由を嘆いています。

当り前の物事が出来なく、身体は故障だらけで複数の医療機関のお世話になる始末。街中には介護施設や接骨院が増えて時代を感じます。

長生きも芸のうちと考えてましたが、長生きは大恥の素で若者方に迷惑をかけるのです。若い方々は仕事等で時間は少ないでしょうが、動かれる間に、旅行や趣味の経験を積まれる事をおすすめします。年を重ねますと個人旅行はとも角、旅行社が募集するツアーには、ついて歩けなくなるのです。

この年迄生かされて、遠い昔にお世話になった母校時代を想い出しては、南高校同窓会の発展を心よりお願いしています。

高女二期だより

大道喜久代

米寿を迎えた会員の集いも、無理しない事を重視して、出席率の高い友を中心に案内発送し、二ヶ月に一度旬の料理を前に一期一会を名実ともに味わう会になり、今年に入りはや二、四月と集会、常連として旧姓馬場、田村、石崎、平井邦、野村ハ、柴谷、鶴飼、後藤さんらの顔ぶれ約三時間、生活の知恵、楽しい昔話とこの日だけ本当に時計の針を止めたい感じます。

いつも話題にあの昭和初期女子高等教育をうけさせてもらった両親への感謝、先輩が一期生のみという新設の市立高等学校（当時桜宮、扇町の五年制で東、西は四年制）として熱心な先生方に囲まれて奥深い学習をうけることの出来た教育環境への感謝など実生活でどれだけ役立ち幸せを与えられていたこと自立、友愛の心をしっかりと学びとったことを一つ、誰ともなく思い出し米寿への感謝と会えることの喜びが明日への糧となり、またの日樂しみに散会です。

ご出席可能の方私までご近況おしらせください。

高女三期だより

小国笑美子

みなさまその後お変わりなくお過ごしのことと存じます。

私達三期生は五十四年続いた同期会を解散してもう五年が経ってしまいました。その後のお互い個人的な交流は、とぎれること無く続いているようで嬉しい限りです。でも年一度の三期生会で顔を合わせる場のなくなつたのは淋しく、こうして「みなみ」の誌上でお会いできるのが唯一のなぐさみとなりました。

幹事としてお役に立てなく、現在は若い方達に助けられ感謝しております。

インターネットで検索できるようになったり、新聞紙上の「まち探訪」に取りあげられたり、母校の名前が出てくるたびに心弾ませております。時代に残り残されそうになりながらもお互いの交流を続けてまいりましょう。

中山 郁代

高女五期だより

私共の中にも身体に故障があり外出出来ないとか、施設に入所したなどと言う話を、耳にすることが多くなり、それがあり前の年令になりました。

長年たつみ会のお世話をして下さった岡本（寺坂）昭子さんが、昨年十月十日に変更した、たつみ会の集いも、昨年は三名の出席でした。でもたのしく語らい、又来年も逢いましようと思われました。戦争中の短縮卒業で、充分学べなかった五期生故に、母校を中心とする同期会が五十余年もつづいていることは、有難いことだと思っております。

私（下岡）は健康を害し皆様にご心配おかけ致しましたが、今年のたつみ会には出席し、皆様にお目にかかることを、たのしみにしております。一期一会、又お逢いしましょう。

下岡佳代子

高校九期だより

わが九期の単独同窓会に緞帳を降ろし、はや、六か月をあとにししました。しかし、有智だけでも、何かやろうと云う

ことに気持ちが通い、い
ろんなふしめ、誰かの
提案で集うことにし、「遊
老会」と命名。早速一月
二十七日に、年初めの集
いと銘打って二十三名が
集まりました。場所は心
斎橋の「湖月（こげつ）」
を選びました。ちよつと
声を掛ければ集まるも
んだなあ：つと、行動派に
脱帽。談話もつぎず、南
船場の「自惚れ」という
行きつけの酒房で談笑し
たところ。です。



湖月にて（26年1月27日）

「お悔み」9期生（昭三十
二年卒）の菊川忠彦君
が二十五年六月二日に逝
去。七十四歳でした。

高校十六期だより
二〇一四年三月八日
（土）日本橋のワシント
ンホテルにて「南校卒業
五〇周年を祝う十六期同
窓会」を開催いたしました。
今回は、案内状を二回

出しました。一回目には、 各クラス代表一名、六組 計六名の呼びかけ人から のメッセージを高校時代 の顔写真と共に載せまし た。また、亡くなられた 方と連絡先不明者の名前 も記載し、情報提供を呼 びかけました。お陰で新 たに十三名の消息がわか りました。	当日は、級友五十一名 が集まりました。恩師松 内先生も出席して頂き、 会場が一段と盛りあがり ました。	五十年来に再会した 者もいて、会場はワイワ イガヤガヤと近況報告や 健康状態やら、何時 までも話は尽きません。 途中ゲーム「大変身し た人、高校時代のまの 人」の人気投票では、松 内先生も選ばれ、大いに 楽しんでいただきました。	次回まで、健康に留意 し、再会することを誓い、 散会いたしました。	（文責 川西）	平成25年度 卒業生進路状況 （合格延べ件数）	進学 ●国立大学（2名） 和歌山大学 神戸市外国語大学 私立大学（205名） 京都外国語大学 京都産業大学 京都女子大学 京都精華大学 京都造形芸術大学 同志社大学 同志社女子大学 10名 10名 2名 1名 3名 1名 2名 1名
--	---	---	---	---------	-------------------------------	---

佛教大学 立命館大学 龍谷大学 大阪女学院大学 大阪成蹊大学 大阪人間科学大学 大阪音楽大学 大阪経済大学 大阪芸術大学 大阪産業大学 大阪樟蔭女子大学 大阪商業大学 大阪電気通信大学 大阪大谷大学 追手門学院大学 関西大学 関西外国語大学 近畿大学 摂南大学 梅花女子大学 桃山学院大学 常盤会学院大学 関西総合保育大学 関西学院大学 甲南大学 神戸女子学院大学 神戸国際大学 神戸川女子大学 武庫川女子大学 帝塚山大学 天理大学 奈良大学 天理医療大学 立命館アジア太平洋大学	1名 9名 24名 2名 1名 1名 1名 1名 8名 1名 2名 2名 2名 3名 4名 15名 24名 15名 24名 2名 7名 5名 4名 2名 2名 3名 1名 4名 4名 1名 3名 2名 5名 2名 4名 1名 5名 7名 2名	専門学校（15名） 聖愛学院短期大学 大阪厚生年金看護専門学校 大阪観光専門学校 キャリエールホテル旅行専門学校 大阪ブライダル専門学校 日本医療秘書専門学校 小阪病院看護専門学校 大阪府病院協会看護専門学校 大阪外語専門学校 甲陽音楽院 ECCアーツ専門学校 大阪外語専門学校 六甲スポーツメディア専門学校	2名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 2名 1名 1名 1名 1名 1名
---	---	---	--

御寄付いただいた方 ※米寿の内祝いとして ご寄付頂きました。	高女1期 三本木美代子 高女2期 小国笑美子 高女3期 上林貴連子 高女4期 中山郁代 高女7期 松家昭子 高女8期 谷川和子 高女11期 多田喜明 高女12期 谷川幸雄 高女13期 服部澄子 校務長 上村和隆 事務長 澤井宏幸 松田映子 以上15名 計一九万四千円也 敬称略	御寄付いただいた方 ※前年度記載漏れ分 ご報告いたします。 敬称略	七十周年記念総会 御寄付いただいた方 高女28期 高木 洋介 ※前年度記載漏れ分 ご報告いたします。 敬称略
--------------------------------------	---	--	---

会務報告 ○平成二五年四月八日 入学式 母校体育館 ○同年五月二二日 三合同懇親会 太閤園 ○同年五月二五日 新入幹事歓迎会 大阪なんばワシントン ホテルプラザ ○同年五月三十一日 体育祭 ○同年六月十六日 同窓会総会 ○同年八月二十四日 役員会・常任幹事会・ 幹事会 ○同年九月十四日 南高校文化祭見学 役員数名 ○同年十一月九日 役員会 会則の全面改正につ いて ○平成二六年二月一日 常任幹事会 同窓会会則の件・役 員改選の件・総会の 日時・その他 ○同年二月七日 新年互礼会 太閤園 ○同年三月二日 新旧役員会 今後の同窓会について ワシントンホテル ○同年三月五日 卒業証書授与式 会長・副会長二名	役員・顧問・常任幹事 会長 下島 仁士 副会長 岡本 佳代美 書記 久保 雅一 江見 正弘 佐竹 宏康 岡本 智子 城山 法子 篠藤 晃一 首藤 博 餅井 輝子 那須 和美 佐藤 雅行 北川 雅詳 畑中 茂 小国 笑美子 谷川 和子 吉崎 襄 服部 隆 大道 喜久代 大山 久子 秋山 義雄 稲田 順一 葛下 育世 坂巻 玲子 大崎 光子 松本 信之 実藤 ゆり 松浦 和成 富島 冬馬 岩城 珠恵 林 千夏 高柳 由紀 富島 瑞稀 中山 葉美 赤木 日香 江木 明 竹内 里菜 前鶴 陽子 伊藤 優美 田中 彩理 新美 重佳 磯部 藍	高65 高65 高63 高63 高63 高63 高63 高63 高62 高62 高62 高61 高54 高34 高31 高31 高23 高18 高18 高3 高1 高12 高3 高7 高2 高28 高18 高11 高18 高29 高20 高43 高32 高30 高36 高30 高30 高23 高18
--	--	--